

ユネスコスクールの日が制定されました

このたび、市制100周年を記念するとともに、大牟田市におけるESD(持続可能な開発のための教育)の充実、市民の方々の学校教育に対する関心を高めることを目的として、毎年1月17日が「大牟田市ユネスコスクールの日」と定められ、本年度は、1月15日から21日までを「大牟田市ユネスコスクール週間」として、各校でユネスコスクールに関する記念イベントが実施されることとなりました。各学校の特色が出た取組が行われるかと思えます。保護者や地域の方々へのESD啓発も併せてすすめたいものです。



第8回 ユネスコスクール全国大会開催

本年度のユネスコスクール全国大会は、金沢市で開催されます。大会テーマとして、「つなぐ 全国へ、世界へ、そして次世代へ、未来へ」を掲げ、連携によりさらに広がるESDの意義、役割、可能性を検討し、未来へつなぐ教育であるESDの深化と拡充を目指していきます。12の分科会毎に、ユネスコスクールにおけるESDの実践の交流が行われます。今回の大会に大牟田市から参加される先生方もおられることと思えます。

参加される先生方は、他地域や他校との交流を深めていただき、大牟田市におけるESDの取組をぜひ発信していただきたいと思えます。

日時：平成28年12月3日(土) 開会9:45 閉会17:15

会場：金沢大学(石川県金沢市)

ESDの取組を県内の中学校に発信！

10月7日にキャリア教育「ユネスコスクールとしてのキャリア教育への挑戦」、11日に社会科「持続可能な社会を創造する力を育む社会科学習指導」をテーマに2つの中学校県大会が行われ、多くの先生方が参加されました。ともにESDの視点に立つ取組が発表されています。大牟田市教育委員会が作成しているESDの手引等も紹介され、市の取組を県内の中学校へ発信することができました。



▲甘木中学校1年の「職業調べ」の授業

大牟田市立白川小学校の実践

「ゴミ減量大作戦」の学習を通して

本校では、社会科の学習や見学から身近な環境問題に気付き、エネルギーについて考える学習を進めています。4年生では「ゴミ減量大作戦」の学習を行い、自分の生活を見つめ直し、ゴミを減らす、節約する、再利用するという点から学校や家庭でできることについて調べました。自分達にできることを実践する中で、「ゴミを減らすことは、地球を大切にしているんだな」と実感し、行動意欲につながりました。さらに、電気をこまめに消す、水を出しっぱなしにしないなどエコ活動に取り組みました。これからも環境問題に関心を持ち、省エネ・省資源の大切さをとらえて実践する児童の育成を目指します。



大牟田市立米生中学校の実践

地域と共に生きる学習

～地域との「かかわり・つながり」を深める学習を通して～

本校では、地域との「かかわり・つながり」を通して、自分達にできることは何かを考え、発信していくことを目指し、福祉学習と世界遺産学習を中心に取り組んでいます。1年生は、特別支援学校との交流を行い、7月「七夕交流」では大きな七夕飾りをつくりました。10月「わくわく交流」では自分達で考えたゲームを共に楽しみます。2年生は、世界遺産「宮原坑」の価値を学習し、発信プロジェクトに取り組みます。「僕らの世界遺産写真展」は、市内やアクロス福岡などで開催。「笑顔いっぱい、花いっぱいプロジェクト」リーフレットも作成中です。気仙沼市松岩中学校との交流も続いています。3年生は、独居高齢者宅訪問で、地域の方々との交流を深めました。全校で5月に「世界一大きな授業2016」に参加し、世界の教育の現状と教育の大切さを学びました。書き損じハガキを回収しユネスコ寺子屋運動にも参加しています。また、生徒会が近隣小学校にも呼びかけ、「届けよう、服のチカラプロジェクト」に参加し、世界へとつながっていきます。

